

yyy 明日からきっと役に立つ yyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyy

◆スキルアップマガジン ～Y's ラーニングからのご案内～

<http://yslearning.com/>

yy

ごあいさつ

Y's ラーニングの浮島です。

この度の東北地方太平洋沖地震により被災された皆様に
心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

メール執筆者からのメッセージ

「おばあの知恵袋」担当 田中晴美

東日本大震災で被災した皆さま、謹んでお見舞い申し上げます。

自宅待機中のとき、被災地の甚大な被害状況をテレビで見ていると、
「今、私が出来ることは何だろう」と考えました。

義援金寄付はもちろんのこと、ボランティアなどいろいろありますが、
日々の生活の中で支援できることということで『無駄な買いだめをしない』
『節電に努める』など、自分の身近なことで微力ながら、
被災者の方々を支援できたらと思っています。

被災地の皆様の生活が一日も早く復旧されますことを心よりお祈りしております。

「お役立ち！ミニミニ知識の泉」担当 浮島由美子

東北のみならず、このメールをお読みいただくことのできる
関東の皆さまも多大なる被害、影響に戸惑われる日々と推察いたします。

一日も早く「日常」を取り戻すよう、皆でできることをがんばりましょう。

気持ちは以下につづってみました。

<http://yslearning.blogspot.com/>

がんばりましょう。そして、応援しましょう。助け合いましょう。

多くのメールマガジン発行者から自粛のご案内をいただきました。
さまざまなご事情により、今はお読みいただけない方もおいでかと思えます。
Y's マガジンは「日常復帰」への願いを込めて、通常通りお送りいたします。

Y's ラーニング株式会社 代表 浮島 由美子

【本号の内容】

1. 【Y's セミナー<3月>】中止と再開予定のご案内
2. 田中晴美「おぼあへの知恵袋」：ヒューマンエラーを防ぐ12
3. 浮島由美子「お役立ち！ミニミニ知識の泉」：【社会人の基礎力って何？】
4. Y's の研修目次紹介 ロジカルプレゼンテーション

::*

1. 【Y's セミナー<3月>】中止と再開催予定のご案内

::*

3月開催のY'sセミナーは、3月17日（木）と3月18日（金）でした。
計画停電により各電鉄会社運行が大変不安定な時期でしたので、
中止させていただきました。

お申し込みいただいた方には大変申し訳ございません。
事態が落ち着きましたら、再度開催を手配いたします。

その際には、3月にご予定されていなかった方もまたお誘いさせていただきます。
皆さまよろしくお願ひいたします。

次号もしくは次々号に日程開示できるよう、調整してまいりますので
今しばらくお待ち願ひます。

テーマは、「要約力」と「ヒューマンエラー防止」
変えずに企画するつもりであります。

★**★

2. 田中晴美「おぼあへの知恵袋」Vol.18

★**★

「おぼあの知恵袋」を担当する、サン電通エンジニアリング株式会社の田中晴美です。

ヒューマンエラーを防ぐ 1 2
— だれでもエラーをする —

前は、エラーの起こる仕組み—背後要因—についてお話ししました。今回は、ハインリッヒの法則についてです。

皆さんは下のような経験をしたことがありますか？

階段を踏み外しそうになって"ヒヤッ"とした。
考え事をしていて下車駅を乗り過ごしそうになって"ハッ"とした。
重要なメールを関係者以外に送信しそうになって"ヒヤッ"とした。
10枚コピーをするはずが、桁をまちがえて"ハッ"とした。

大方の方がたが「ある・ある」とうなずいているのではないのでしょうか。

例えば、朝の混雑時に駅のホームへ向かう階段を踏み外して、転倒してしまったら一体どうなってしまうでしょう。
たぶん階段で将棋倒しが起こり、重傷者・軽傷者や死亡者も出て、電車は運転中止
という大事故となってしまう可能性があります。

以前、大事故を分析すると小さな「ヒヤリハット」が原因である場合が多いということを書きました。
この小さな"ヒヤリ"が、一足飛びに大事故につながる場合もあります。

1つの重大事故・災害（死亡・重傷）の背後には 29 の軽傷事故があり、その背景には 300 の異常（ヒヤリハット）が存在するという法則を、アメリカの損害保険会社で技術・調査部の副部長をしていたハインリッヒが 1929 年に発表した「ハインリッヒの法則」があります。

この法則（論文）の中で、ハインリッヒは 2 つの問題があると唱えています。

1. 潜在的な問題とは、300 のヒヤリハットと 29 の小事故
→エラーのほとんどは初歩的ミス・単純ミスで専門的なミスはあまりない。
2. 顕在化された問題とは、潜在的な問題の積み重ねで発生する 1 つの大事故

「1 : 29 : 300」で表されている比率は、よく考えれば非常に高い確率で重大事故を招くことを示唆しています。

4月以降、新年度、新規研修体系などをご検討の方のために、
「社会人の基礎的な能力」に対する考え方を少しまとめてみましたよ。

そもそも「社会人として身につけておきたい能力」とは何か。
「職業能力」を定義している考え方もありますし、もう少し幅広く「人間力」
として知識やスキルの範囲を定義する識者や団体もあります。
「企業人」より「社会人」の方が定義は広くてあたりまえです。
要は、「今、自社にとって必要なのは何か」から選択するしかありません。

いくつかの考え方をご紹介します。

社会人基礎力：

経済産業省が提唱しているのが、その名の通り「社会人基礎力」です。
職場や地域社会の中で多様な人々とともに仕事を行っていく上で必要な
基礎的な能力とされているのは、前回ご紹介の通り。
整理されていて、研修などにも定義、展開がしやすいと思います。

- ・前に踏み出す力（アクション）
＝主体性、働きかけ力、実行力
- ・考え抜く力（シンキング）
＝課題発見力、計画力、創造力
- ・チームで働く力（チームワーク）
＝発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力

学士力：

文部科学省が定めた学士課程共通の「学習成果」に関する参考指針です。
4分野13項目あります。
学校卒業時にこれが身につけていけば苦労しない..？

- ・知識・理解
＝多文化・異文化に関する知識の理解、人類の文化、社会と自然に関する
知識の理解
- ・汎用的技能
＝コミュニケーションスキル、数量的スキル、情報リテラシー
論理的思考力、問題解決力
- ・態度・志向性
＝自己管理能力、チームワーク・リーダーシップ、倫理観
市民としての社会的責任、生涯学習力
- ・統合的な学習経験と創造的思考力
＝獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題に

それらを適用し、その課題を解決する能力

人間力：

内閣府「人間力戦略研究会議」が定めた日本で唯一閣議決定された基礎力です。「社会を構成し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力」だそうです。

企業人ではなく、「人として」という定義ですので、幅が広いですね。

少し抽象的で、研修や評価に落とし込むには検討が必要です。

- ・「基礎学力（主に学校教育を通じて修得される基礎的な知的能力）」、「専門的な知識・ノウハウ」を持ち、自らそれを継続的に高めていく力。また、それらの上に応用力として構築される「論理的思考力」、「創造力」などの知的能力的要素
- ・「コミュニケーションスキル」、「リーダーシップ」、「公共心」、「規範意識」や「他者を尊重し切磋琢磨しながらお互いを高め合う力」などの社会・対人関係力的要素
- ・これらの要素を十分に発揮するための「意欲」、「忍耐力」や「自分らしい生き方や成功を追求する力」などの自己制御的要素

これらを総合的にバランス良く高めること。

いかがでしょうか、この他にも「コンピテンシー」なども基礎力をまとめたものです。

企業研修では、わかりやすく、実感しやすい定義を作ることが必要ですね。

◆ 4. Y's の研修目次紹介 「ロジカルプレゼンテーション」 ◆

Y's ラーニングの研修目次紹介、今回は「ロジカルプレゼンテーション」

これを受けて、明日からは『会議室のヒーロー』に！

ぜひぜひご検討ください。

目次は盛りだくさんに見えますが、1日で全部やりますよ！

【要約力】

オリエンテーション

- ・研修の目的と概要説明
- ・自己紹介は3分間スピーチで..

- 1) プレゼンテーションの基本原則
- 2) プレゼンテーションの3つの Key スキル
- 3) ロジカルシンキングの重要性

- ・ 4つの思考プロセスを思い出そう
 - ・ プレゼンテーションに要求される「ロジカル」とは？
- 4) プレゼンテーションを準備する
- ・ 目的と対象者
 - ・ 情報収集と分析
 - ・ プレゼンテーションの構成とメンタルモデル
 - ・ フレームワークとビジュアルエイド
- 5) プレゼンテーションを実施する
- ・ プレゼンテーションの基本
 - ・ 発声方法<7つの音声表現>
 - ・ リハーサルは何のため？
- 6) プレゼンの場をファシリテートする
- ・ ファシリテーションとは
 - ・ 共感と態度効果
 - ・ 質疑応答でリードする
- 7) レビューする<ロジカルプレゼンテーション成功へのチェックポイント>

お問い合わせはこちら

<http://yslearning.com/inquiry/>

〇。
「スキルアップマガジン」は、Y's ラーニングのお客様、および Y's の
スタッフが名刺交換させていただいた皆様にお送りしています。
あなたのスキルアップに役立つ情報をお届けする無料のメールマガジンです。
ぜひ、ご愛読くださいますようお願い申し上げます。

※皆様からのご意見・ご感想・ご要望、お待ちしております。

→ E-mail : info@yslearning.com

→ Y's ラーニングお問い合わせフォーム : <http://yslearning.com/inquiry/>

※配信停止をご希望の方は、「配信停止」とご記入の上、
お手数ですが、停止希望のメールアドレスを上記までご連絡ください。

※配信先の変更がある場合は、「配信先変更」とご記入の上、
旧配信先と新しい配信先をご記入の上を上記までご連絡ください。

〇。
2011.3.22 号

【ビジネスマナークイズ *解答】

解答 (2)

ビジネス社会では上下の関係が重視されます。名刺交換でも上位の人から順番に

行うのがマナーです。近くにいる人から順番に行っていくほうが効率がよく思えますが、マナーを無視してはいけません。

部屋では席次にしたがって座っているはずですが、それを確認しながら上位のお客様から交換します。上司が同席していれば、そのあとに続く形で交換していけば間違いないでしょう。

名刺は訪問した側から先に差し出すのが基本ですから、自分が動かずに相手が来るのを待つのはマナー違反です。